



4月12日(金)12時9分20秒 START



市民の声をたくさん拾ってほしいです

杉山雅一さんと家族(江間) 自営業

歴史や地域の伝統行事など、市民がまだ知らないような情報を期待しています。『地域に特化した情報局』として、市民の声をたくさん拾ってほしいです。小学生の子どもがいるので、一緒に楽しめるイベントの紹介も楽しみにしています。

市内の災害情報は助かります

渡邊一郎さん(田中山) 野菜農家

農作業をしている間は、ラジオは欠かせません。季節の野菜や花などの旬な情報を期待しています。火災や台風などの災害情報を発信してもらえると助かります。市内を中心に働いているので、道路の冠水状況などを聞けばとても役に立つと思います。



新しいスタジオで真剣に練習に励むパーソナリティ

87.7

MHz

伊豆の国コミュニティFMが開局

特集 ラジオのある暮らし

4月12日(金)12時9分20秒、いよいよ伊豆の国コミュニティFMが開局
この放送局は市内の情報を中心にお届けする地域限定の放送局
地域の『今』を皆さんに伝え、『まちを元気にする』を目的に
身近な話題や災害時の正確な情報などを発信する
皆さんのためのメディアです

政策企画課

055-948-1413



災害時にも役立つラジオ
乾電池の備蓄も必須

伝

伊豆の国の『今』を伝える
地域のための
情報伝達ツール

地域限定の放送局
周波数は『87・7 MHz』

コミュニティFMとは、市や町などの特定された範囲に電波を発信するFM放送です。このたび開局する『FMいずのくに』は、放送エリアだけでなく、情報も『地域限定』『市内中心』に特定する、皆さんのためのコミュニティ放送局です。

地域の特徴を生かした番組や災害時の情報提供など、皆さんのための基幹メディアとして開局。皆さん、ラジオの周波数を87・7 MHzに合わせましょう。

ラジオの
アンテナ位置の調整を

FMの電波は直進して飛びます。山や高い建物などの影響を受けるため、

『伝える』を担う
(株)FMいずのくに



『FMいずのくに』の電波塔は源氏山にあります。この塔一つで市内全域に電波を飛ばします。皆さん、ラジオのアンテナを源氏山へ!!



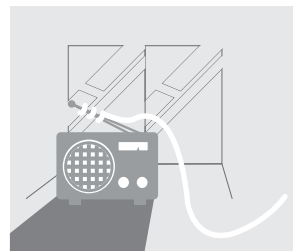
ラジオを高い位置に置くなど、電

波を受けやすい環境を整えてください。

また、建物の材質などによって電波が通りにくい場合があります。ラジ

オは、窓に近い場所に置いてください。それでも電波を拾いにくい場合は、アンテナに

リード線を巻き付ける、FM専用のアンテナを接続すると大きな効果が得られます。



葦山時代劇場の旧食文化研究室に居を構える(株)FMいずのくに

株式会社FMいずのくに

■企業理念

私たちは、コミュニティFM放送事業および関連事業における活動を通じて、市民とまちの活気を創造するため、人々の元気を誘発するHAPPYな情報を発信します。

まちの元氣創造に欠かせない、市民一人ひとりの安全、安心、快適な暮らしに必要な情報を発信します。

スタッフ全員がすべての役割を担う

スタッフ 1人の役割
ディレクター
パーソナリティ
ミキサー
営業

= 役割を超え、局の運営や地域を盛り上げるための番組作りの工夫をしやすい環境
= 専門職を置かないことで人件費の高騰を抑制



4月12日(金)12時9分20秒 START

87.7

MHz

強

災害に強い
まちづくりも兼ねる
地域情報の源

なぜ今、ラジオなのか

阪神淡路大震災や東日本大震災で活躍したのが、電気も回線も要らないラジオでした。災害時の緊急情報発信はもちろん、その後の地域の生活支援情報を継続して発信することができるラジオは、『災害に強いまちづくり』には強い味方。近年は、インターネット回線などを利用した情報発信が注目されがちですが、誰でも聞きやすいラジオは、行政を中心に見直されています。

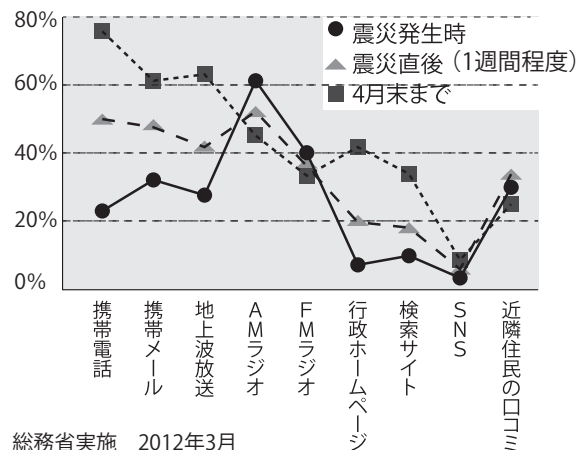
ただいまスタッフ研修中

1) 機材の操作方法を覚えろ 2) 番組のプラン作り 3) 4) 厳しい発声練習 5) ルールを学んでいます 6) ミキサー操作習得中



震災時に利用したメディア

震災発生時は即時性の高いラジオが評価されています。その後、安否確認等を行うための携帯電話やメールが評価され、それから地域性の高い情報を収集可能なインターネットの評価が高まっています。



ラジオで情報収集する人が多い
地域性の高い情報を求める

災害時は、地域の情報を発信するコミュニティ放送こそ、最も活躍する情報発信源

総務省実施 2012年3月
『災害時における情報通信の在り方に関する調査結果』より一部抜粋

「まちを元気にしたい！」
「自分のまちの良いところをもっと知ってほしい」

「マルチャレント」という表現があります。『FMいずのくに』ではパーソナリティや機械操作、



『FMいずのくに』はローカルな放送局とはいえ、市の基幹放送局として皆さんの生活が豊かで楽しくなるような情報を発信していきます。

私たちスタッフは、微力ながらも志高く、チームワークを大切に、伊豆の国市を盛り上げていきたいと意気込んでいます。応援をどうぞよろしくお願い致します。

スタッフ一同より

「責任とやりがい」を胸に

わたしたちが届けます

FMいずのくに
パーソナリティ

「どうしても働いてみたい」と集った私たちスタッフの面々は、社会人デビューの20代から人生の酸いも甘いも噛み分けた60代で構成されています。培ってきたキャリアもさまざまな、文字通り個性豊かな人ばかりです。

今、私たちは開局

を目前に、

パーソナ

リティ研

修の真つ

最中。厳

しい特訓

の毎日を

送っていま

す。『パーソ

ナリティ…』一見、華

やかそつに見える仕事です

が、日々の研鑽と高いプロ

意識が必要な過酷な仕事

です。

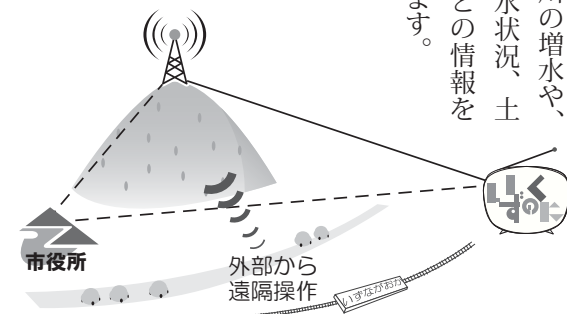
「マルチャレント」とい

う表現があります。『F

Mいずのくに』ではパー

ソナリティや機械操作、

大規模災害時には、電波を飛ばし
外部からの遠隔操作も可能



台風や地震などの災害発生時は、市と連携して情報を発信します。市役所災害対策本部で集約された情報を速やかにラジオでお届け。狩野川の増水や、道路の冠水状況、土砂崩れなどの情報をお伝えします。

行政と連携して情報を発信

『毎月1日は訓練放送』
災害時対応のために、毎月1日正午に、緊急訓練放送を流します。ご家庭のラジオの周波数を合わせて、訓練に参加してください。

87.7 MHz



犬に逃げられちゃった～

週末の音楽発表会をみんなに知らせたい

情報を発信

情報を送付

ご利用ください

こんなとき

【情報の送付先】
(株) FMいずのくに
FAX 055-949-3194
Mail info@fmizunokuni.jp
※情報の発信は内容により
有料になる場合があります。
(参考 CM20秒300円～)

私たちが発信します

FMいずのくに
パーソナリティ



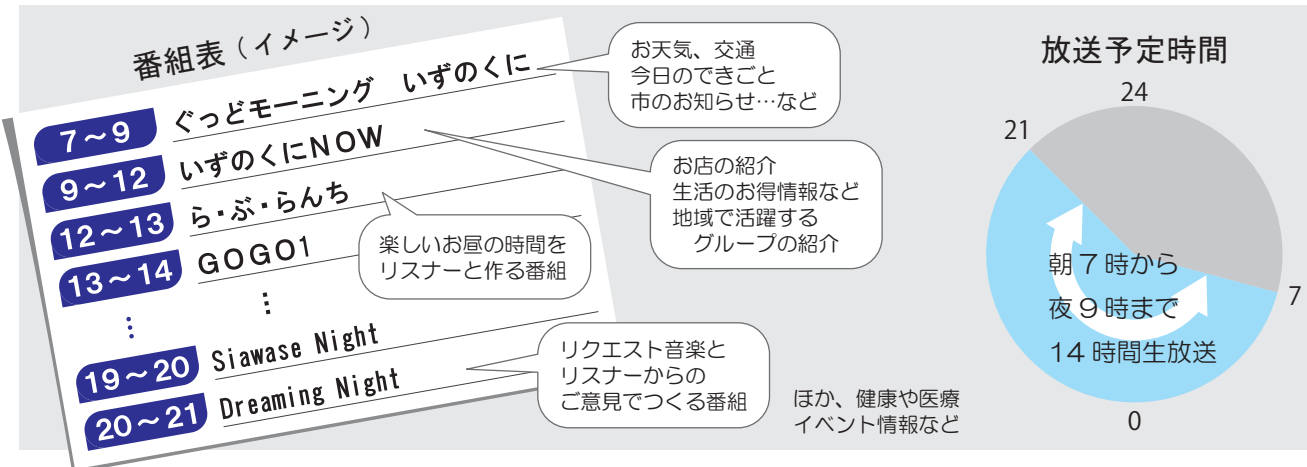
いつもあなたのそばに…
FMいずのくに

創

地域の一体感を創出する
無限の可能性を秘めた
FMいずのくに

『FMいずのくに』にできること。それは情報の発信と、コミュニケーション創りのお手伝いです。主役は市民の『あなた』。みんなの情報をみんなで聴く。一つの情報をきっかけに、人がつながり、楽しさや元気を創る。そんな放送局を目指します。皆さんで創っていきましょう。

地域活性化手段のひとつ
主役は『あなた』



皆さんが、広く市民に『知らせたい』情報をお待ちしています。地域の祭りや少年団のスポーツ大会、音楽発表会をお伝えします。

商店の特売やタイムセール情報、新しくできた喫茶店、前から気になっていたラーメン屋など、皆さんにとって身近な情報をお届けします。

みなで創る

皆さんが、広く市民に『知らせたい』情報をお待ちしています。地域の祭りや少年団のスポーツ大会、音楽発表会をお伝えします。

市内にいる皆さんにとって、有益な情報をお届けします。

例えば、世界遺産を目指している蜷山反射炉や国宝を所蔵する願成就院、国の重要文化財である江川邸など、私たちの住む『歴史のまち』の価値や魅力をお伝えします。

商店の特売やタイムセール情報、新しくできた喫茶店、前から気になっていたラーメン屋など、皆さんにとって身近な情報をお届けします。

地域の価値や魅力を
発掘・発信

『FMいずのくに』は、まちの元氣創りの“きっかけ”です。元氣を生みだす導火線。元氣になるのは市民の皆さんと、このまち。FMいずのくにには、『元氣起爆 Radio』！



無限の可能性を秘めた『FMいずのくに』コミュニティ放送のちから

地域の一体感を作り上げるには、自然体で情報を共有できる環境が不可欠です。FMいずのくにのリスナーは市民が中心。市民が情報を共有するのには、ラジオは最適な方法の一つ。市民の暮らしにも、まちづくりに貢献できるラジオは、無限の可能性を秘めています。

ラジオから流れるイベント情報を聴いて足を運ぶ市民。市内滞在中に、ラジオを聴いて伊豆の国市の魅力を発見する観光客。ラジオには、新たな人の動きを期待することもできます。

地域の発展に多くの影響を与える『情報』。伊豆の国に特化した市民のための『今』を伝えることができるコミュニティFMは、ここにしかない唯一無二のメディア。電波という見えない糸で、人と人を、地域と地域を、そして現在と未来をつなぎます。

無限の可能性を秘めた『FMいずのくに』。FMいずのくにがコミュニティを広げるきっかけづくりの役割を果たすとき、地域の一体感を創りだすことができるのではないだろうか。明日を開くカギは、リスナーの皆さんが握っています。

にぎわいを創る

皆さんがラジオを聴いて、歴史散策に出かける、商店のお得な情報を聴いていつもより足を延ばす、スポーツ大会に参加し新たな人との結びつきを生む。これらがまちを元気にし、にぎわいを創出します。

皆さんがラジオを聴いて、歴史散策に出かける、商店のお得な情報を聴いていつもより足を延ばす、スポーツ大会に参加し新たな人との結びつきを生む。これらがまちを元気にし、にぎわいを創出します。

